



2023年5月12日

各位

会社名：株式会社イノベーション
 代表者名：代表取締役社長 CEO 兼 COO 富田 直人
 (コード番号：3970 東証グロース)
 問合せ先：取締役 CFO 山崎 浩史
 (TEL：03-5766-3800)

通期連結業績予想の修正、並びに営業投資有価証券評価損（連結・個別）及び特別損失（連結・個別）の計上に関するお知らせ

1. 2023年3月期の通期連結業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想 (A)	5,550	830	830	475	192円53銭
今回発表予想 (B)	4,570	343	345	62	25円45銭
増減額 (B-A)	△979	△487	△484	△412	—
増減率 (%)	△17.6	△58.6	△58.4	△86.8	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,380	777	784	448	190円61銭

(2) 修正の理由

オンラインメディア事業の一部である「bizplay」の事業モデルを動画視聴によるリード提供型からオンラインイベント開催型に転換することに伴い、売上計画が未達となりました。なお、会員数は引き続き順調に獲得しております。

また、ITソリューション事業においては計画していたアライアンスが成立せず、業績予想の乖離が発生しております。

金融プラットフォーム事業における市場環境の影響を受けた高リスク商品販売自粛等により、売上高並びに営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表値を下回る見込みです。セグメント毎の売上高は以下の通りであります。なお、2023年3月期の期末配当の予想値につきましては、変更はありません。

(単位：百万円)

	オンラインメディア事業	ITソリューション事業	金融プラットフォーム事業	合計
前回予想 (A)	3,900	640	1,010	5,550
今回予想 (B)	3,420	477	672	4,570
増減 (B-A)	△479	△162	△337	△979
増減率 (%)	△12.3	△25.4	△33.4	△17.6

2. 営業投資有価証券評価損の計上について

当社の連結子会社である INNOVATION HAYATE V Capital 投資事業有限責任組合が保有する非上場株式について、実質価額が著しく下落したため営業投資有価証券評価損として連結決算において 106 百万円、個別決算において 103 百万円を売上原価に計上する見込みとなりました。

3. 特別損失の計上について

2023 年 3 月期決算において、以下のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(1) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券の一部について、実質価額が著しく下落したため連結決算及び個別決算において投資有価証券評価損 56 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

(2) 固定資産の減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する「bizplay」関連の固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、連結決算及び個別決算において減損損失 40 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

(3) 子会社株式評価損

当社の連結子会社である株式会社 Innovation M&A Partners の実質価額が著しく下落したため、個別決算において子会社株式評価損 59 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。当該子会社株式評価損は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(4) 貸倒引当金繰入額

当社の連結子会社である株式会社 Innovation M&A Partners の財政状態の悪化を踏まえ、個別決算において同社に対する貸倒引当金繰入額 30 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。当該貸倒引当金繰入額は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 業績への影響

上記 2.、3. (1)、(2) につきましては、前述の「1. 2023 年 3 月期の連結業績予想の修正について」に反映しております。

以 上